

◆2018年2月13日より受託検査を開始いたしました。◆

## 犬ワクチンセット検査

大阪ラボ

### ■ キャニバック® Aセット・Bセット

- 共立製薬株式会社の犬用混合ワクチン「キャニバック®」をご使用の場合は、このセット検査をご選択ください。
- ワクチン効果、防御能のチェックのためのセット検査です。

セット名	項目	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
キャニバック® Aセット	CDV抗体 CPV-2抗体	血清(血漿) 0.1mL	常温 冷蔵	5日 以内	CDV:IP CPV-2:ELISA ※1 CAV-1:NT	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワクチン接種後の効果判定(主に若齢犬)やワクチン追加接種の必要性の確認(主に成犬)の検査です。ワクチン接種後2~3週以降に採血してください。なお、CPV-2のみの判定はワクチン接種10日後で可能です。</li> <li>2. 犬以外(フェレットやキツネなど)ではCDV抗体が若干低く測定されることがあります。</li> <li>3. 以下の【結果の解釈】は一般的なものです。特にワクチン接種が必要と考える場合はワクチン会社にお問い合わせ、またはワクチン会社発行の技術資料を参照の上ご判断ください。</li> </ol>
キャニバック® Bセット	CDV抗体 CPV-2抗体 CAV-1抗体	血清(血漿) 0.15mL	常温 冷蔵	7日 以内		

※1: キャニバック®に対応するため、犬パルボウイルス2型(CPV-2)の検査法を、赤血球凝集抑制(HI)試験から酵素免疫吸着測定法(ELISA)に変更しました。

⇒検査法の変更による基準値の変更はありません。従来の基準値をそのままご利用いただけます。

- 「キャニバック®」以外のワクチンをご使用の場合は、「Aセット」、「Bセット」をご選択ください。

キャニバックは共立製薬の商標です

### 【結果の解釈】

4ヶ月齢以上			
CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80以下	20以下	20以下	発症を確実に防御できる抗体価ではありません(ワクチン効果が不十分です)。
160~320	40~80	40~80	現時点で防御可能な抗体価ですが、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が必要です。1年以内にワクチンを追加接種するか、抗体の再検査を実施されることをお勧めいたします。
640以上	160以上	160以上	発症を防御できる抗体価です(十分なワクチン効果です)。
3ヶ月齢			
CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80以下	20以下	20以下	発症を確実に防御できる抗体価ではありません(ワクチン効果が不十分です)。
	40		移行抗体の可能性があるので、1ヶ月後に再検査をするか(移行抗体の場合は1/4~1/16に低下します)、ワクチンの再接種をお勧めします。
160~320	80	40~80	現時点で防御可能な抗体価ですが、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が必要です。1年以内にワクチンを追加接種するか、抗体の再検査を実施されることをお勧めいたします。
640以上	160以上	160以上	発症を防御できる抗体価です(十分なワクチン効果です)。
2ヶ月齢			
CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80以下	20以下	20以下	発症を確実に防御できる抗体価ではありません(ワクチン効果が不十分です)。
160~320	40~320	40~160	移行抗体の可能性があるので、1ヶ月後に再検査をしてください。(移行抗体の場合は1/4~1/16に低下します)
640以上	640以上	320以上	発症を防御できる抗体価です(十分なワクチン効果です)。

各月齢における移行抗体との区別のためには、ワクチン接種済みの健康犬100頭の血清について抗体価を測定し、その最高値と移行抗体の半減期から算出した値を利用しております。